社会福祉法人 そてつ会

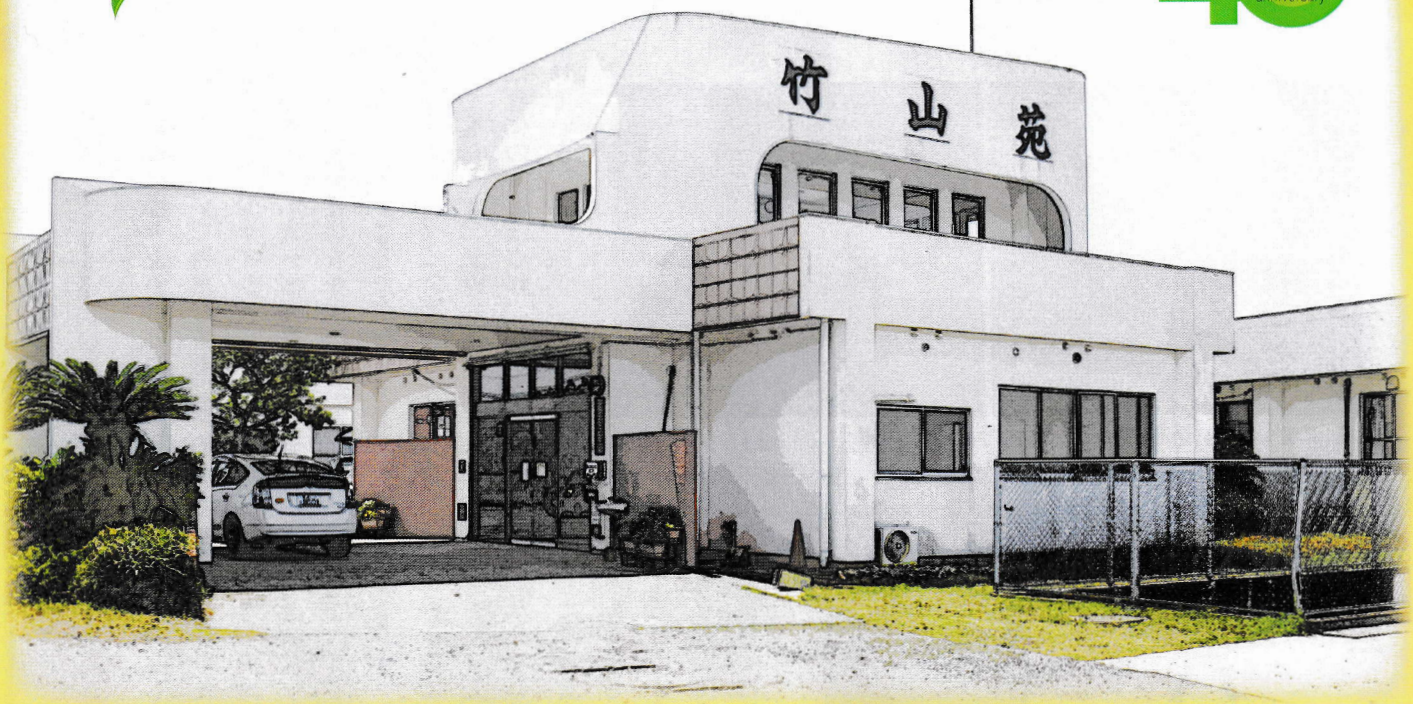
季刊誌

ともにいきる

2019
12

社会福祉法人そてつ会40周年

40th years anniversary



四十周年を迎えて

そてつ会理事長　岡村　もも子

社会福祉法人そてつ会が最初に障害者支援施設竹山苑を昭和五十四年指宿市山川に開設して四十年が経ちました。

その後、平成十二年には南九州市で特別養護老人ホーム涼松、平成十九年には老人デイサービス岡村さん家、平成二十五年には居宅介護支援事業所岡村さん家を、指宿市で平成二十四年には相談事業所ともいきを設置し、南薩地域で地域に密着したサービスを行ってまいりました。

平成二十八年から始まった社会福祉法人制度改革により、制度ビジネスだけではない活動を求められています。それはある意味、社会福祉事業法以前の原点回帰の在り方を求められているとも言えます。

社会福祉法人が誕生した戦後の混乱期には、課題が山積していたものの、ある意味、戦後孤児や、傷痍軍人といったカテゴライズをして施策を進めることが効果的だった部分がありました。

しかし、社会が成熟してくると、地域で認識される課題はより細分化され、パーソナルなものが増えてきました。

これからのそてつ会はそんな地域の課題解決の役割を果たしていきたいと考えています。

目次

表紙「そてつ会40周年」

竹山苑……2
涼松……3
岡村さん家（通所介護）……4
岡村さん家（居宅介護支援事業所）……5
ともいき……5
事業所紹介……6
施設間交流……7
そよ風事業……8

竹山苑

バリアフリー温泉

指宿市の魅力である砂むし温泉を介助が必要な方や障害がある方にも楽しんで頂けるよう「温泉入浴介助サービス」を平成三十年から指宿市と取り組んでいます。今回、竹山苑職員が鹿児島読売テレビ「かごピタ」バリアフリー温泉の特集取材を受け、その様子がテレビ放送されました。レポーターの方に、実際の介助を受けてもらいながら、砂むし温泉を体験して頂きました。

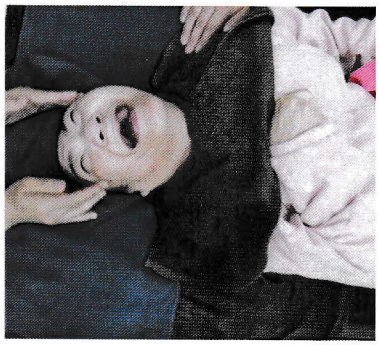
苑では定期的にイベント食を企画しています。普段の苑食に加えて、ホットプレートでのお好み焼きや、外部の方をお呼びし、ラーメンなどを作っていただいたり、バイキングでたくさんの種類の中から料理を選んで楽しんでいただいています。

テレビのリポーターの方が体験入浴されている様子です。

最後一緒に「ハイ、チーズ!」

はじめてのエステ

「綺麗になりたい」との利用者様の希望を伺い、外部の方を定期的にお呼びし、フェイシャルエステをしています。エステ体験をされ、初めはどの利用者様も身体に力が入り、緊張されていましたが、スチーマーを当て、フェイシャルマッサージをしてもらうと、気持ち良さから次第に身体の力もほぐれ、リラックスされていました。

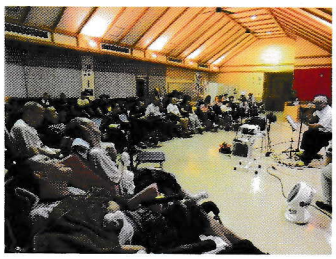


右：スチーマーを当て、フェイシャルマッサージ中 ♥
左：気持ち良さからこの表情（＾＾）

指宿映画祭

第二回指宿映画祭が七月二十日～二十八日の九日間にわたり開催されました。映画祭初日の七月二十日㈯は、当施設も映画祭の第一会場として選ばれ、二作品が上映されました。映画「ぶきっちょ」の遠藤健一監督が遠路はるばる東京からお越し下さり、また、上映前には、地元バンド「ネガティーズ」による演奏もありました。鑑賞された利用者様、職員、来客の皆様との楽しい一時でした。苑ではこのように文化活動、地域の方々との交流を積極的に行い、利用者、職員共にいきいきと活動しています。

遠藤健一監督です。とてもお優しそうな方でした(＾＾)♥



竹山苑創立四十周年

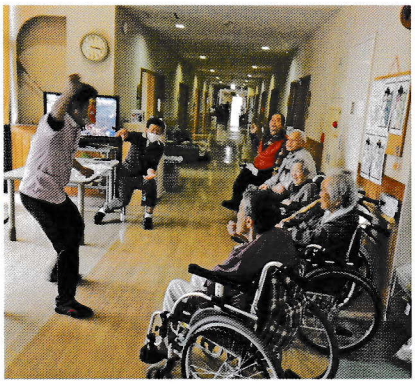
竹山苑は、今年、創立四十周年を迎えました。これもひとえに利用者様・ご家族の皆様・地域の皆様・関係諸団体のお力添えのおかげです。

今後ともよろしくお願いします。

涼松（すずまつ）

余暇活動

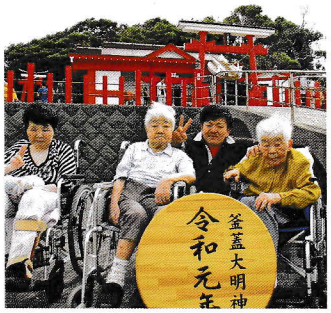
施設内での生活で少しでも季節感を感じてもらったり、過ごしている時間が無駄に感じないように工夫しながら余暇活動に取り組んでいます。



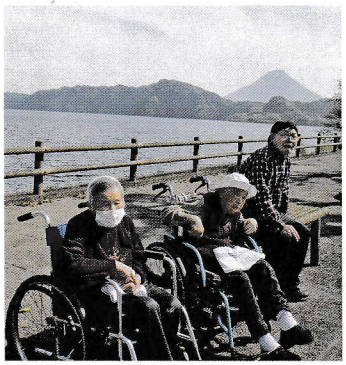
のどかな昼下がり、
突然鬼が襲って来ました！

外出支援

春先は池田湖で花見、令和に入り釜蓋神社でお参りと不定期ではありますが天気のいい日には外出を行っています。外の風や空気を感じ、利用者も普段とは違う表情を見せ、いつもは聞けないような話が聞けることもあり、その中で「もっとこの人を知りたい」「もっと良くしてあげたい」という思いが広がります。それが人対人の仕事ならではの楽しみや喜びであり、専門知識や技術習得の意欲にも繋がっていきます。



平成から令和へ…



開聞岳をバックに記念撮影

七夕飾り

職員と一緒に作った七夕の飾り付けを七夕の唄を歌い、それぞれ願いを込めながら飾り付けました。業務の合間を縫っての作業でしたが終わってから「わっぜよか」「きれいね」と皆さん喜んでくださいました。利用者に楽しく有意義な時間を過ごして頂くための工夫も仕事のやりがいに繋がっています。

最後はみんなで完成した七夕飾りの前で
ハイ・ポーズ！

「ささのはさらさら♪のきばにゆれる♪お星さまキラキラ♪きんぎんすなご♬」

大川十五夜祭

この日は時折、雨にも見舞われましたが予定通り大川十五夜祭が開催されました。地元のお祭りということもあり顔見知りの方と交流する場面が多く見られました。施設から馴れ親しんだ地域へ外出し、親しかった人と触れ合うことで心理的にも安定されます。

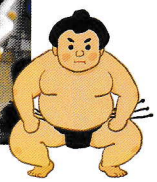
地元の顔見知りの方との交流。名前はなかなか思い出せませんが顔はしっかり覚えています！

小雨の降る中、子どもたちの太鼓の演奏や子供相撲を熱心に見ておられました。

岡村さん家（通所介護）

相撲甚句

四月初旬、一般社団法人、日本相撲甚句会（東京）の全国総師範、羽黒郷龍太朗さんが来られ、「相撲甚句」を披露してくださいました。初めてのことに皆さん、感激されていました。笑いもたくさんあり貴重な体験をさせていただきました。



あー、どすこい、どすこい

アグリランド

五月半ば　アグリランドの小動物園に行きました。「三十年ぶりだ」「初めて来た」などの声が聞かれ、天気も良く「ああ気持ちいいね」と喜ばれていました。来月はどこがいいかなと職員間でも盛り上がっています。

みなさん、お久しぶり

ティータイム

木曜日ご利用の男性の方々です。カメラを向けるととてもいい顔をされ、近くにいた介護スタッフ、さらに調理スタッフも思わず入り、はいポーズ！

茶いっぺ　うまかどー

個別機能訓練

個別機能訓練の一環として食前にテーブル拭きを担当してくださっています。「はい、拭きますね」と声を掛けながら丁寧に拭いてくださっています。周りの方も「ありがとうね」と仰って下さるのでいいコミュニケーションの一つとなっています。今ではこんなに元気な方ですが、最初は寝たきり状態でした。いろんな声掛け等を行い、徐々に前向きになってくださり、今に至っています。こういう姿を見るたびに「こんなに元気になってくれて本当にうれしいね」と職員間で話し、やりがいに繋がっています。

デイでも母してます

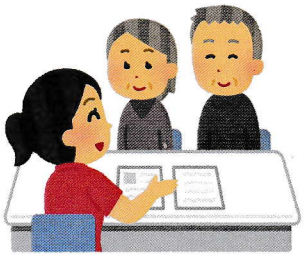
岡村さん家（居宅介護支援事業所）

「徘徊SOSネットワーク」のご紹介

認知症が進行すると場所や道順、自身が置かれている状況を識別しにくくなる等してトイレの場所や道を間違えたりすることがあります。ご本人は何かをするつもりで外出しても、道順や場所が分からない等といったことから道に迷ってしまい、事故に遭ったり行方不明になってしまうことにつながりかねません。

当事業所のある南九州市では認知症で道に迷うことがある方またはその可能性がある方が行方不明とならないよう、万が一なった時にもできるだけ早期発見・保護できることを目的とした『徘徊SOSネットワーク』というものがあります。これはご本人やご家族の同意のもとで対象となる方の氏名・身長・体重・体型・よく行く場所、かかりつけ医療機関・担当居宅介護支援事業所、ご家族等の緊急連絡先等早期発見に必要な情報を事前に登録します。登録した情報は警察署・消防組合・地域包括支援センター及び協力機関のうち市長が必要と認める機関で共有され、対象となる方が所在・行方不明となった時にできるだけ早く発見・保護できるように使用されます。もし所在・行方不明となった時は警察署・消防組合に連絡すると警察署から協力団体へ「南九州あんしんメール」等で登録していた情報等が発信され、早期発見・保護につなげることができます（登録された情報は目的以外には使用されません）。

このような事業は南九州市に限らず、多くの自治体等で行われております。お困りの方はお住まいの市役所の担当部署や地域包括支援センター、居宅介護支援事業所に是非ご相談ください。



©いらすとや

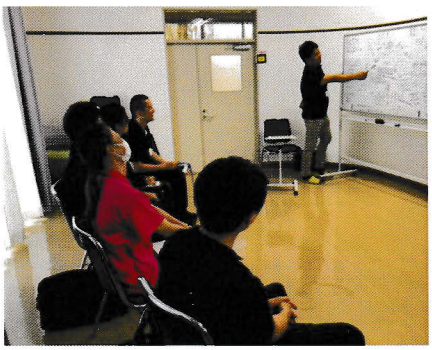
ともいき

ともいきでは、相談支援専門員に求められる「相談支援の質の向上」を目的とした取り組みを行っております。今回取り組みの一環として地域の相談支援事業所や障害者就業・生活支援センターとともにファシリテーション技術を活用し、事例検討型グループスーパービジョンを実施しました。

スーパービジョンはソーシャルワーク実践ならびに業務の遂行能力の向上のために、教育的・管理的・支持的機能により、訓練ならびに助言および指導を目的としたものです。

ファシリテーションとは「促進する」、「容易にするという」などの意味があります。役割として①議論の流れを管理②チームワークを引出し、活性化する③チームの役割を最大に支援することの三つがあります。グループというかたちでホワイトボードを使用して「見える化」することで参加者全員が課題共有・解決のアイデアを出し合うことができます。

相談支援事業所ではひとり事業所も少なくなく、こういった機会を設けることで事例を見つめ直すきっかけとなり、利用者本人の意思を中心に他専門職からの意見で新たな視点や気づきを得るという効果があります。今後も地域とともに更なる相談支援の質の向上を目指し取り組んで参りたいと思っております。引き続き、福祉サービスの利用や日常生活を送る上で生じる悩みや困りごと、わからないことがありましたら一緒に考えていきますので、お気軽にご相談ください。秘密は厳守致します。



ともに生きる

特別養護老人ホーム
涼松

障害者支援施設
竹山苑

相談支援事業所
ともいき

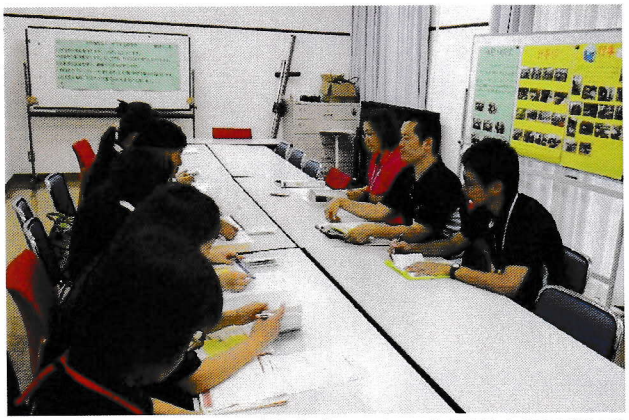
通所介護事業所
岡村さん家

居宅介護支援事業所
岡村さん家

法人トピックス Topics

～BCPを意識して～ 法人内 職員交流会を実施

そてつ会では、ＢＣＰ（下欄ポイント参照）の実践的な取組で、施設間の職員交流・研修会を実施しました。指宿市と南九州市に施設があることのメリットを活かし、非常事態に備え、お互いに支援体制を作ることが目的です。それぞれの施設は、制度や利用者が異なります。研修では、施設や利用者の特徴などについて理解を深めました。この活動は今後、毎年実施していく予定です。



涼松・岡村さん家職員が竹山苑・ともいき相談支援事業所での研修

竹山苑職員が岡村さん家デイサービスでの研修

竹山苑職員が岡村さん家居宅介護支援事業所での研修

POINT

BCP（事業継続計画）とは？

大地震等の自然災害、感染症のまん延、テロ等の事件、大事故、サプライチェーン（供給網）の途絶、突発的な経営環境の変化など不測の事態が発生しても、重要な事業を中断させない、または中断しても可能な限り短い期間で復旧させるための方針、体制、手順等を示した計画のことです。

高齢者や障がい者、児童等が生活したり、日常的に利用している社会福祉施設等においても、利用者への支援等の重要な事業を中断させない、または中断しても可能な限り短い期間で復旧させるために、BCP（事業継続計画）の策定が有効と言われています。

竹山苑職員が涼松での研修

「育休中の職員が遊びに来てくれました。出産おめでとう。」

先輩職員からの声

涼松　**坂本 莉佳**
入社２年目

初めての職場で不安しかなかったのですが先輩方が優しく相談にも乗ってくださるので安心して仕事ができる職場だと思います。

季刊誌 ともにいきる
発行／社会福祉法人 そてつ会　発行日／令和元年12月1日
印刷／㈱指宿新生社印刷
E-mail：sotetsukai@po.minc.ne.jp
URL：http://www.sotetsukai.org

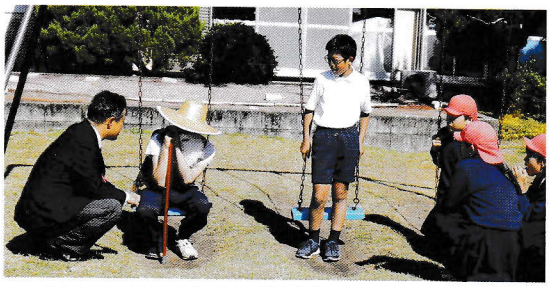
Topics

6年目 ～そよ風事業～ 多角的に活動を展開中

そよ風事業は、今年度で六年目を迎えます。活動の理解が広がり、小学校との連携がますます深まっています。

十月からは、『学習支援』が始まり、社会福祉法人による地域貢献が期待されています。

そよ風ランチ 別府小で開催



（上）別府小６年生と地域合同の声かけ訓練
（下）別府小6年生施設利用者との交流

令和元年度　そよ風事業の活動

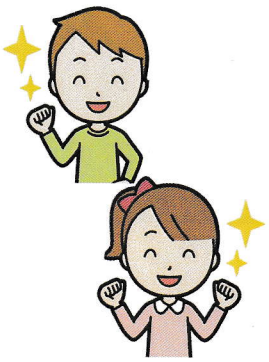
6月　別府小6年生　施設見学（榎山学園・涼松）
7月　別府小6年生　福祉の授業
8月　子ども食堂・地域食堂南薩地区ネットワーク結成
9月　別府小6年生　ポスター・標語審査
10月　別府小6年生　施設利用者交流（榎山学園・涼松）
11月　別府小6年生地域合同声かけ訓練

※通年（原則毎月第２土曜日）そよ風ランチ・学習支援

学習支援事業スタート

子ども達の憩いの場に

南九州市の委託を受けて、本年十月より、小・中学生を対象に、『学習支援事業』を実施します。この活動を通して、子どもたちの健やかな成長をお手伝いしたいと考えています。



≪想定される活動内容≫
◎学習支援
◎悩み相談ができる居場所の提供
◎本人・家族への進路相談
◎学びなおしができる居場所の提供
◎高校進学へ向けた支援制度の紹介
◎世代間交流による社会性の育成

≪実施場所≫
南九州市立別府小学校

社会福祉法人 そてつ会

障害者支援施設 竹山苑
鹿児島県指宿市山川福元4856番地1
TEL (0993) 35-2131

相談支援事業所 ともいき
鹿児島県指宿市山川福元4856番地1
TEL (0993) 35-2135

特別養護老人ホーム 涼松
鹿児島県南九州市頴娃町別府5539番地1
TEL (0993) 38-0121

通所介護事業所 岡村さん家
鹿児島県南九州市頴娃町別府4845番地3
TEL (0993) 38-2840

岡村さん家 居宅介護支援事業所
鹿児島県南九州市頴娃町別府4845番地3
TEL (0993) 38-2840